

# 菱垣廻船安穩丸の太平洋漂流

参加費無料

—アメリカ捕鯨船に救助された最初の日本人—

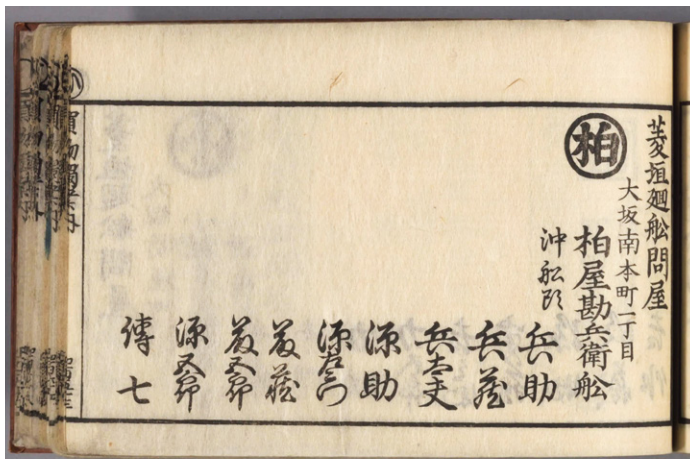
こばやし かおる  
■ 講師: 小林 郁

2026年5月23日(土) 14:00~16:00

Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)



一立斎広重『東都名所永代橋全図』(部分)  
国立国会図書館デジタルコレクション PID:1307043



越中船長者丸の乗組員は天保9年(1838年)に遭難し、翌年アメリカの捕鯨船に救助された。欧米の捕鯨船が日本人漂流民を救助したのは、これが最初とされている。

しかし新村出は「太平洋の捕鯨船と日本の開国」の中で、それより前の文政8年(1825年)に「大阪の漂流民」が欧米の捕鯨船に救助された可能性を指摘した(『新村出選集』第二巻)。「大阪の漂流民」とは、大坂商人柏屋勘兵衛が所持する菱垣廻船・安穩丸の乗組員である。

このたびの例会では、まずハワイ在住の宣教師レヴィ・チェンバレンの日記をもとに安穩丸漂流民を救助したのがアメリカ・ナンタケット島の捕鯨船オーロラ号(セス・コフィンJr. 船長)であることを明らかにする。その上で、安穩丸漂流民が漂到したのはどこの海岸なのかを推理してみたい。

■ 小林 郁 (こばやし かおる) 日本海事史学会会員  
1964年生まれ。東京都東村山市在住。  
江戸・明治・大正期の漂流民に関心を持ち、各地で調査を続けている。  
著書に『新編鳥島漂着物語』(天夢人、2018年)など。

中川芳山堂撰『江戸買物独案内』より  
安穩丸が遭難した文政7年(1824年)の刊行物。  
沖船頭の2人目「兵蔵」は安穩丸の船頭であろう。  
国立国会図書館デジタルコレクション『江戸買物独案内2巻付1巻下巻』243/286

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。  
※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。  
お申込みいただいた方には5月20日(水)までにご連絡いたします。
- 会員にはメールでご案内をお送りしています。  
メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■ 申込〆切: 2026年5月19日(火) 正午(12:00)

■ 申込先: [kaijishi.web@gmail.com](mailto:kaijishi.web@gmail.com) (担当: 大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み(非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の開催予定日 総会@駒場: 6月27日(土) / Web 例会: 6月27日(土)・7月25日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回) / 総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

